資料6

学校の対策を万全とし、安全・安心な教育環境の提供

Ⅰ 校内に持ち込ませない

○　SNSを活用し、集団感染等の要因・対策を、全道の学校・市町村と共有
- 感染の要因・傾向・対策等
- 感染症対策に係る専門家のアドバイス等

○　保護者向け啓発の実施
- 保護者向けに感染症対策の情報提供

（ex）本人及び家族が風邪症状であれば休ませることなど
- 家族の健康観察の徹底

Ⅱ 校内で感染を広げない

○　希望する教職員、児童生徒がワクチン接種しやすい環境づくり
- 医師会と連携した動画（正しい理解促進）作成
- 教職員の優先接種に向けた依頼
- 児童生徒が接種しやすい環境作り
- ワクチン接種の有無による偏見、差別の防止

○　感染拡大を予防する積極的な対応
- 範囲を広めに設定した予防的な休業の実施
- 基準に沿った休業措置の徹底
- 臨時休業時のオンライン学習及び出席停止の児童生徒への個別のオンライン学習の実施

○　大会等での感染症対策の徹底
- スポーツ団体等で構成する連携会議での対応共有
- 全道、全国大会の実施・延期・中止の考え方の共有